

# 統計アラカルト

熊本の統計情報

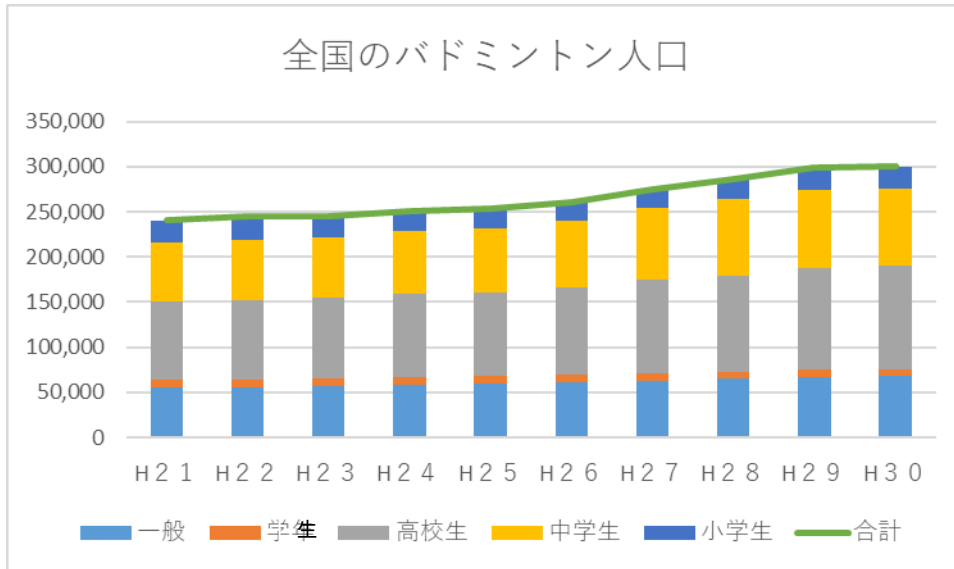
令和2年10月14日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

随時、色々な統計に関する話題・データを紹介します。

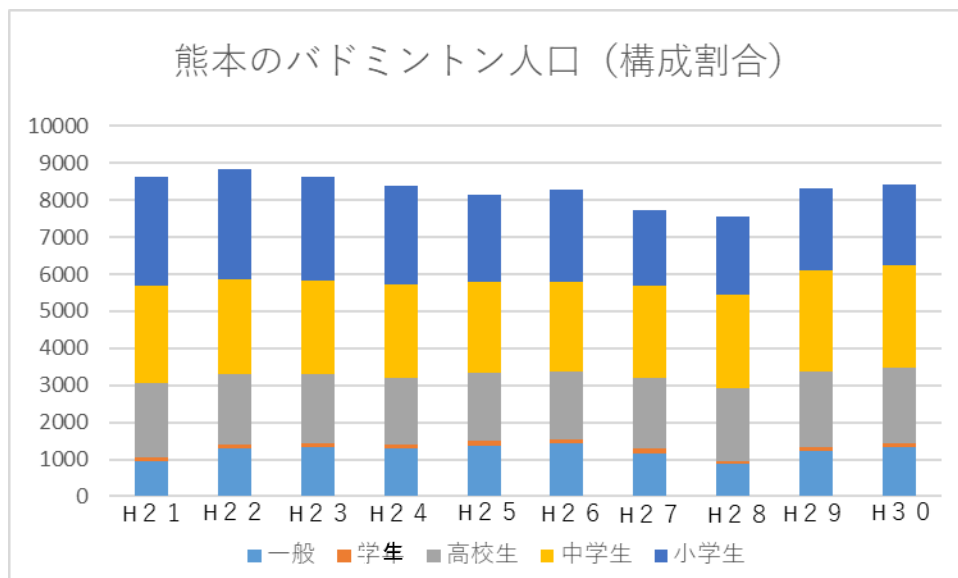
僕は熊本県立熊本聳学校二年生の今村穂と申します。熊本県の業務を体験するため、熊本県統計調査課に実習生として参加しています。今回の「統計アラカルト」は、特別に僕が作成することになりました。僕は部活動でバドミントンを選択していて、全国、熊本でバドミントンをされている人数が気になったので、バドミントンの競技人口を調べてみました。

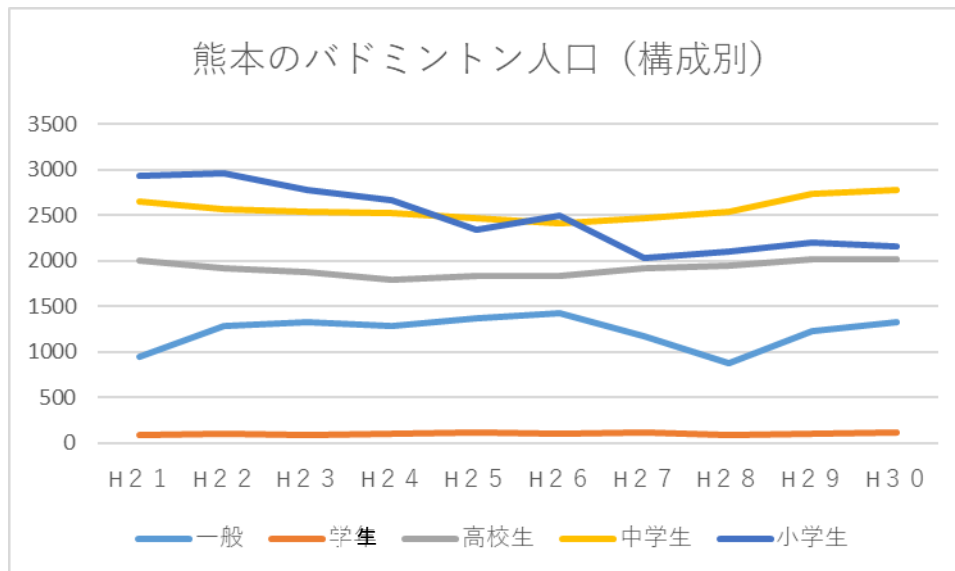
※公益財団法人 日本バドミントン協会の「会員登録の推移」のデータを参考にさせていただきました。



#### 全国だと…

構成別でバドミントンの競技人口が一番多いのは高校生ですね。年々増えています。また、バドミントン人口全体も年々増え続けています。





#### 熊本だと…

H30年を見てみると一番多いのは中学生ですね。多少の変動はありますが年々増えてきています。H21は小学生がトップでしたが、H30になると…中学生がトップになっていました！高校生は一時下がりましたがH29から少しずつ上がっています

バドミントンの競技人口は全国では増えていますが、熊本は増えたり減ったりとバラバラ…。中体連より高校総体のほうが人数が多いのかなと思っていましたが、このデータを見て、実は中学生のほうが競技人口が多いということを知り、驚きを隠せませんでした。バドミントンは気軽に始められます。熊本では男子だとダブルスの園田選手・嘉村選手ペア(八代東卒)、山口茜選手(再春館製薬所)が世界最高峰の大会で活躍しています！全国では桃田選手や遠藤選手・渡辺選手ペアや永原選手・松本選手ペアなども活躍しています！もっとバドミントンをされる方が増えることを願っています！皆さんも健康的なスポーツなので家族で始めたりとか、部活動で大会に出場したい！とか、これをきっかけに是非チャレンジしてみませんか？

熊本県の統計情報は

「[https://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c\\_id=3&class\\_set\\_id=1&class\\_id=1297](https://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297)」をご覧ください。

問合せ先：熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺 6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp